

マイ・タイムラインで取るべき行動を時系列で整理

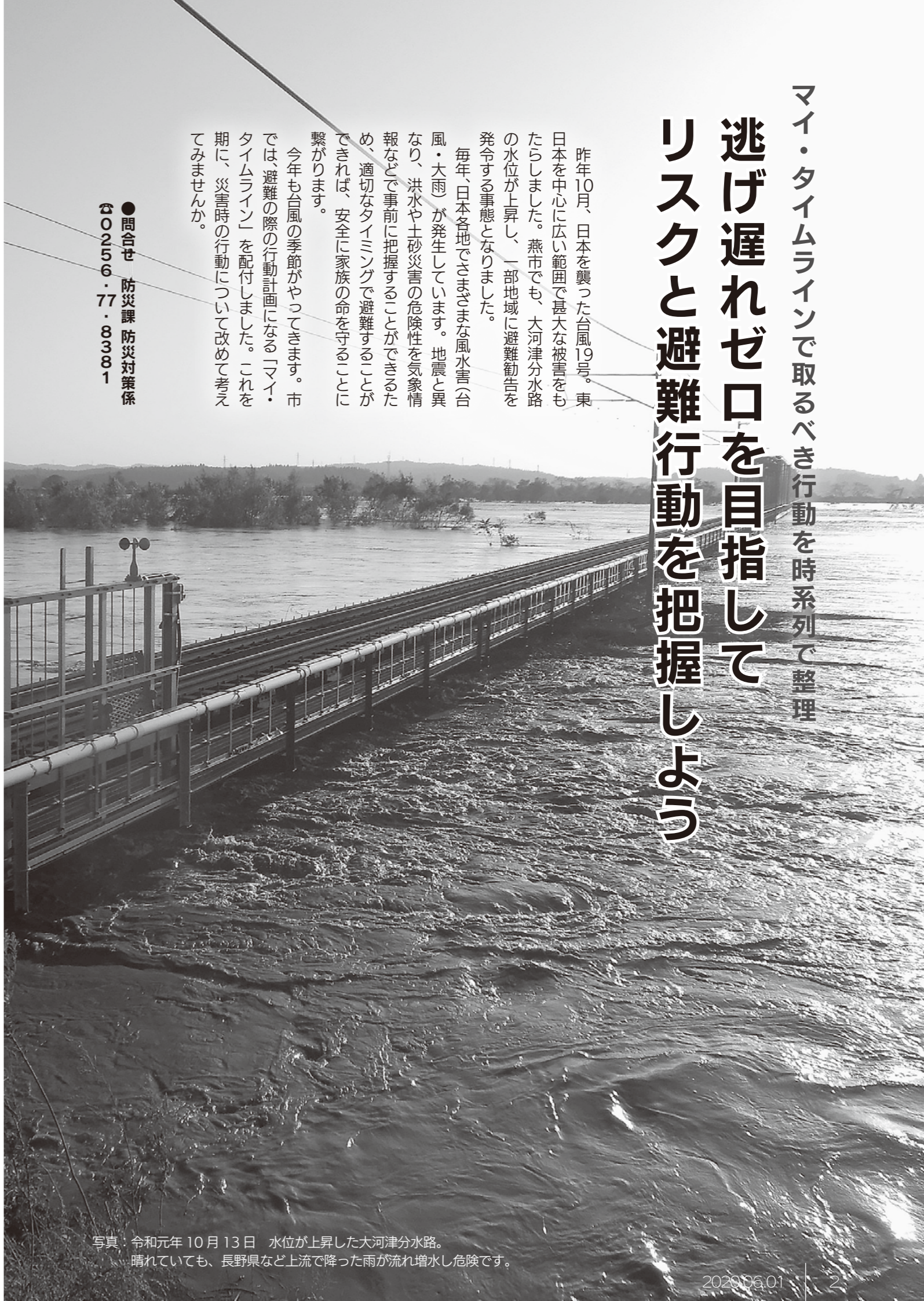
逃げ遅れゼロを目指して リスクと避難行動を把握しよう

昨年10月、日本を襲った台風19号。東日本を中心に広い範囲で甚大な被害をもたらしました。燕市でも、大河津分水路の水位が上昇し、一部地域に避難勧告を発令する事態となりました。

毎年、日本各地でさまざまな風水害(台風・大雨)が発生しています。地震と異なり、洪水や土砂災害の危険性を気象情報などで事前に把握することができ、適切なタイミングで避難することができます。安全に家族の命を守ることに繋がります。

今年も台風季節がやってきます。市では、避難の際の行動計画になる「マイ・タイムライン」を配付しました。これを期に、災害時の行動について改めて考えてみませんか。

●問合せ 防災課 防災対策係
02556・77・8381



写真：令和元年10月13日 水位が上昇した大河津分水路。晴れていても、長野県など上流で降った雨が流れ増水し危険です。

マイ・タイムラインは 時系列に沿った避難行動の 計画表です

災害時の行動は、地区の浸水想定や建物の構造・強度、家族構成などにより異なります。

マイ・タイムラインでは、住居の浸水リスク、持ち物のリスト、避難のタイミングを平常時から実際に避難するまでの流れに沿ってまとめることができます。これを作成することで、いつ、何をすべきかが具体化でき、万一、災害が発生したときに落ち着いて行動することができます。

お年寄りや妊婦、小さな子どもなどの要配慮者は、高台や家の2階など高いところへの避難(垂直避難)にも時間が必要です。そのような個々の事情も勘案して、時間に余裕をもった行動計画を立てましょう。



▲今号と一緒に配付した「マイ・タイムライン」。豪雨のあとの信濃川の危険性などの情報も掲載されています。

「新型コロナウイルス感染症」 拡大防止に対応した避難行動 のポイント

避難所においては、災害の規模によって「密集」状態になることも予想されます。マイ・タイムライン作成時には次の点にも留意してください。

- 「垂直避難」ができるなど、自宅での安全確保が可能な場合は、指定避難所へは避難せず、在宅避難を検討してください。自宅だけでなく、知人・親戚宅でも同様です。自宅の浸水想定をハザードマップで確認してください。
- 避難する場合は、体温計、消毒液、マスクなどの衛生用品を持参してください。
- 避難所へ避難した際は健康チェックを行い、体調がすぐれない場合は避難所内の担当職員へ知らせてください。
- 避難所内では人との距離を取ってください。また、手洗いとマスクの着用を徹底してください。

避難所での行動や注意点については、令和元年の広報つばね7月1日号も併せてご覧ください。



「死なないためにはどうするか」事前の準備を

平成21年の台風9号では、兵庫県佐用町で3家族11人が避難中に水路に流され、9人が亡くなりました。それ以来、「避難勧告が出たら全員避難所に行くべきだ」という考え方は改められました。

もし大河津分水路が破堤したら、市役所・消防本部・主要道路は浸水し、職員も救急車や支援車両も動くことができません。避難所は避難した人が中心になって運営せざるを得ないことが予想されます。

日頃から「死なないためにはどうするか」「何を準備しておくか」を決めておくことが大切です。まずは燕市ハザードマップで自宅周辺の浸水リスクを確認してください。避難所への避難の必要性を冷静に考えましょう。

避難しなくても大丈夫な人が避難所にあふれると、新型コロナウイルス感染症対策のために必要な空間が維持できなくなり、本当に避難が必要な人が入れなくなってしまう。



燕市総務部 防災主幹
十河 浩